

# 岡山県感染症週報

2011 年 第 41 週 ( 10 月 10 日 ~ 10 月 16 日 )

岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

## ◆2011 年 第 41 週 ( 10/10 ~ 10/16 ) の感染症発生動向 (届出数)

## ■全数把握感染症の発生状況

第 39 週	2 類感染症	結核	1 名 ( 50 代 男 )
第 40 週	2 類感染症	結核	3 名 ( 20 代 女 1 名、30 代 女 1 名、80 代 男 1 名 )
第 41 週	3 類感染症	細菌性赤痢	1 名 ( 40 代 女 海外渡航歴あり )
		腸管出血性大腸菌感染症	3 名 の報告がありました。 ( O157 幼児 女 1 名、児童 男 1 名、80 代 男 1 名 )

## ■定点把握感染症の発生状況

- RS ウイルス感染症は、わずかに減少しましたが、10 月中旬の患者数としては過去最も多い状態が第 40 週からつづいています。
- インフルエンザは、患者報告がありませんでした。
- 手足口病は、全県では患者数が減少し、感染症発生レベル3 がつづいていた真庭地域も、レベル 1 になりました。

- 【速報】10 月 19 日 倉敷市の小学校で流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) による学級閉鎖がありました。  
10 月 19 日 岡山市の幼稚園で集団かぜによる学年閉鎖がありました。(インフルエンザと診断された園児 0 人)

- 腸管出血性大腸菌感染症は、10 月に入って 4 名、今年 10 月 19 日までに 62 名の発生がありました。岡山県では腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令し、感染予防を呼びかけています。
- RS ウイルス感染症の定点あたり患者数は、わずかに減少しましたが ( 定点あたり 0.59 → 0.56 人 )、10 月中旬の患者数としては最も多い状態が前週からつづいています。  
RS ウイルス感染症については『今週の注目感染症』をご覧ください。
- インフルエンザは、岡山県では患者報告がありませんでした。  
全国集計第 40 週速報値によると、全国では定点あたり 0.06 人、第 35 週以降患者増加がつづいています。沖縄県、佐賀県、山口県、愛知県で定点あたり患者数が増えています。患者発生はまだ散発的です。  
インフルエンザウイルスは AH3 型 (いわゆる A 香港型) が第 36 週に神奈川県で 5 件、第 39 週に山口県で 2 件、B 型が第 39 週に大阪府で 1 件、第 40 週に茨城県で 5 件報告されています。( [国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012 シーズン](#) )
- 手足口病の定点あたり患者数は、全県では減少し ( 定点あたり 1.19 → 0.83 人 )、感染症発生レベル 3 がつづいていた真庭地域も、レベル 1 になりました。

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓		RS ウイルス感染症	→	★
咽頭結膜熱	↓	★	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	★
感染性胃腸炎	→	★★	水痘	↗	★
手足口病	↘	★	伝染性紅斑	→	★
突発性発疹	↘	★★	百日咳	→	
ヘルパンギーナ	↘	★	流行性耳下腺炎	↘	★★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↗	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	↗	★★	クラミジア肺炎	→	

【記号の説明】

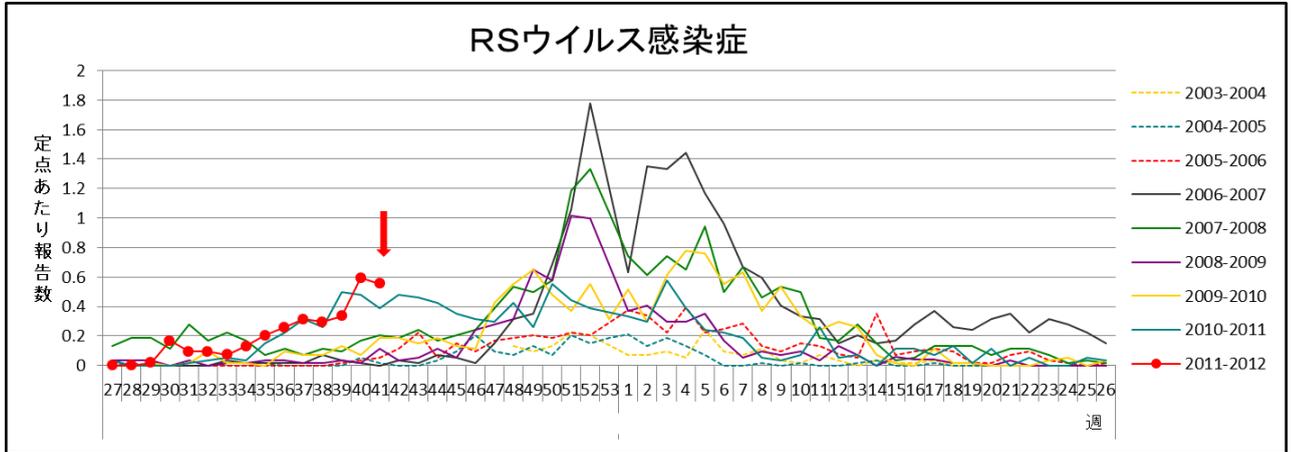
前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少    ↘ 1.1～2倍未満の減少    → 1.1未満の増減  
                          ↗ 1.1～2倍未満の増加    ↑ 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし   ★僅か   ★★少し   ★★★やや多い   ★★★★多い   ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

今週の注目感染症

RSウイルス感染症

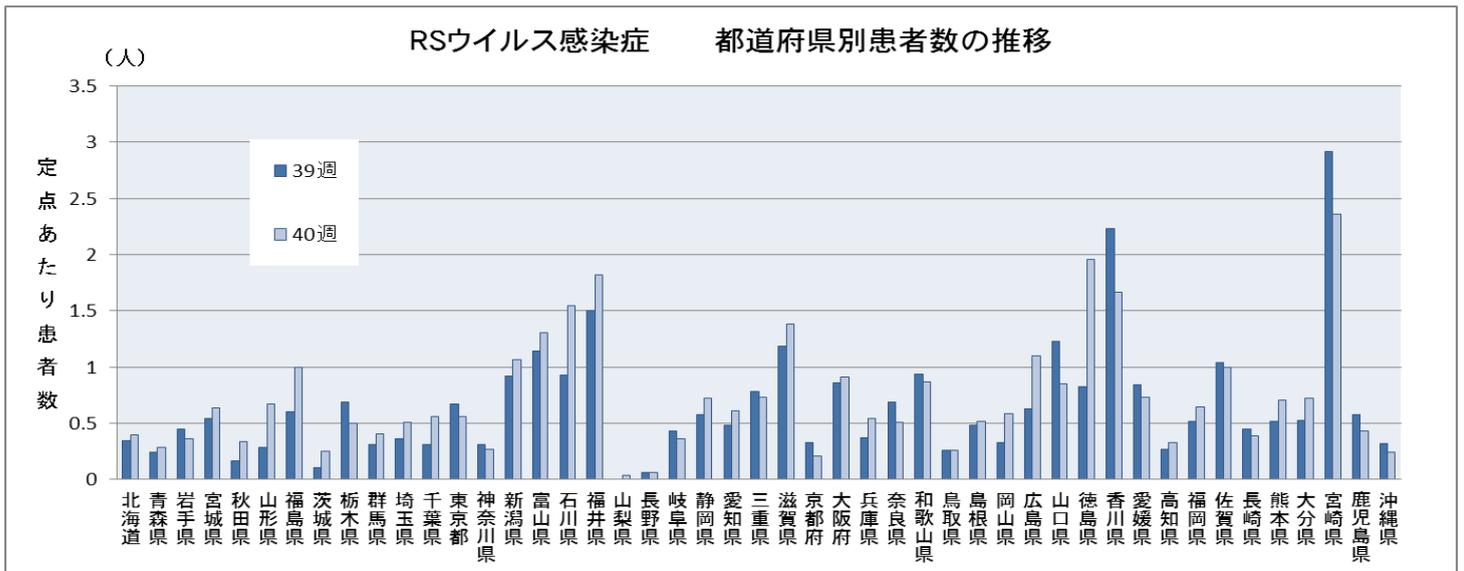


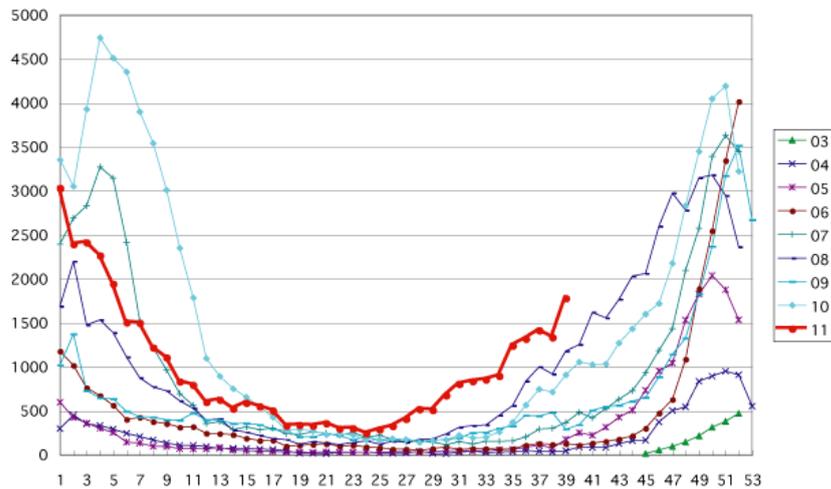
※RSウイルス感染症は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年27週～翌年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。

RSウイルス感染症は、患者数がわずかに減少したものの（定点あたり0.59→0.56人）、データのある2004年以降の10月中旬の患者数としては、最も多い状態が第40週からつづいています。岡山県の患者年齢分布は、1歳以下の乳幼児が全報告数の80%、全員が3歳以下でした。

国立感染症情報センターによると、全国の流行は例年であれば12月か翌年1月にピークを迎えますが、今年は夏頃（第25週）より患者の増加が見られ、これまでで最も多い状態が継続していると報告されています。

RSウイルス感染症は、重篤性や合併症から特に乳幼児において重要な感染症であり、今後冬に向けてさらに患者の増加が懸念されています。（[国立感染症情報センター 第39週 週報](#)）





全国のRSウイルス感染症 過去との比較グラフ  
 (国立感染症情報センター 第39週 週報より)

【RSウイルス感染症とは】

RSウイルス感染症は、冬（11月～1月）に乳幼児の肺炎・細気管支炎などを起こす急性呼吸器感染症で、乳幼児の肺炎の50%、細気管支炎の50～90%を占めるとされています。2歳までに、ほぼ100%の子供がこのウイルスの初感染を受けるといわれ、生涯にわたり感染を繰り返しますが、通常年齢が上がるにつれ重症化することが少なくなります。

流行の中心は1歳以下の乳幼児です。潜伏期は2～8日、発熱、鼻汁、咳などで発症し、通常8～15日で軽快します。しかし、初めてかかる乳幼児では、しばしば肺炎や細気管支炎を発症し、生後6ヶ月以下の乳幼児においては重症化することがあり、入院を要することもあります。1歳以下では無呼吸・脳炎など重大な合併症を伴うこともありますので特に注意が必要です。

感染力は強く、患者との密接な接触や、咳やくしゃみによるウイルスの飛沫により感染します。予防には手洗い・うがい、手指の消毒、マスクの着用が効果的です。保育園や幼稚園などでは集団発生することがありますので、感染予防に心がけてください。長引く咳や、呼吸時にゼーゼーと音がする喘鳴などが見られるときは、早めに医療機関を受診してください。また、感染した大人が気づかぬうちに子供にうつしてしまうこともありますので、注意してください。

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3  
**数字** は感染症マップにおいて レベル2 を示しています。

保健所別報告患者数 2011年 41週 (2011/10/10～2011/10/16)

2011年10月19日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	30	0.56	12	0.86	9	0.82	-	-	3	0.43	3	0.75	-	-	3	0.50
咽頭結膜熱	3	0.06	1	0.07	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	0.43	2	0.14	16	1.45	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	227	4.20	57	4.07	58	5.27	43	4.30	13	1.86	9	2.25	7	3.50	40	6.67
水痘	16	0.30	7	0.50	4	0.36	4	0.40	-	-	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	45	0.83	8	0.57	4	0.36	8	0.80	8	1.14	2	0.50	1	0.50	14	2.33
伝染性紅斑	7	0.13	3	0.21	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
突発性発疹	19	0.35	10	0.71	3	0.27	4	0.40	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	0.09	1	0.07	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	50	0.93	14	1.00	8	0.73	8	0.80	16	2.29	2	0.50	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	3	0.60	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	8	1.60	4	4.00	4	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 41週 (2011/10/10～2011/10/16)

2011年10月19日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	3	0.06	1	0.07	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	0.43	2	0.14	16	1.45	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	227	4.20	57	4.07	58	5.27	43	4.30	13	1.86	9	2.25	7	3.50	40	6.67
水痘	16	0.30	7	0.50	4	0.36	4	0.40	-	-	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	45	0.83	8	0.57	4	0.36	8	0.80	8	1.14	2	0.50	1	0.50	14	2.33
伝染性紅斑	7	0.13	3	0.21	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	0.09	1	0.07	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	50	0.93	14	1.00	8	0.73	8	0.80	16	2.29	2	0.50	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	3	0.60	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2011年 第41週 2011/10/10～2011/10/16 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	30	5	7	14	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	3	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	-	-	-	2	3	3	2	6	1	2	1	3	-	-
感染性胃腸炎	227	6	22	33	17	22	17	14	14	12	9	10	23	5	23
水痘	16	-	1	5	2	2	3	-	-	1	2	-	-	-	-
手足口病	45	-	3	13	11	8	-	4	2	-	1	1	1	-	1
伝染性紅斑	7	-	-	-	-	1	1	-	-	3	1	1	-	-	-
突発性発疹	19	-	10	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	50	-	-	4	8	8	5	6	4	5	2	1	5	-	2

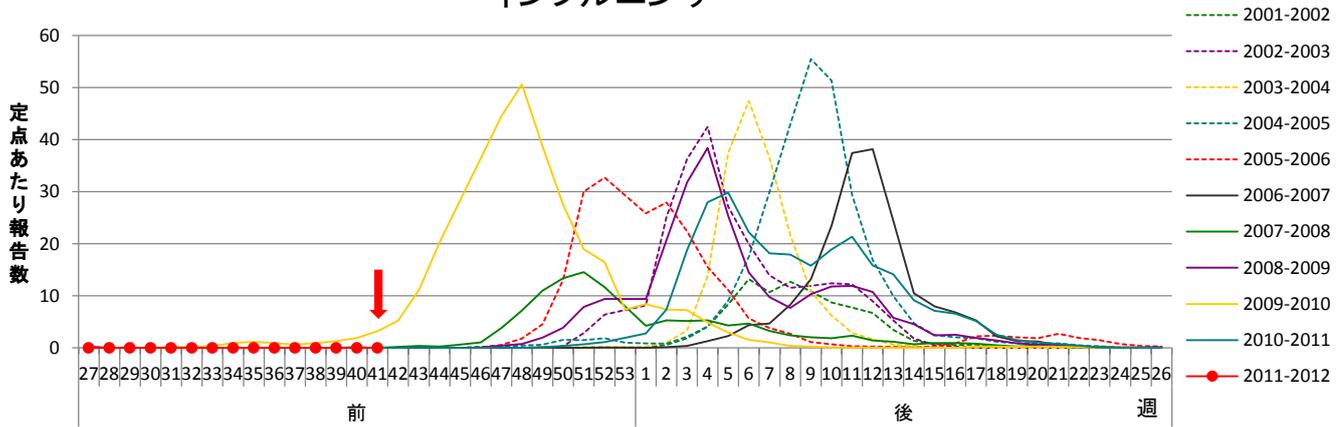
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	8	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

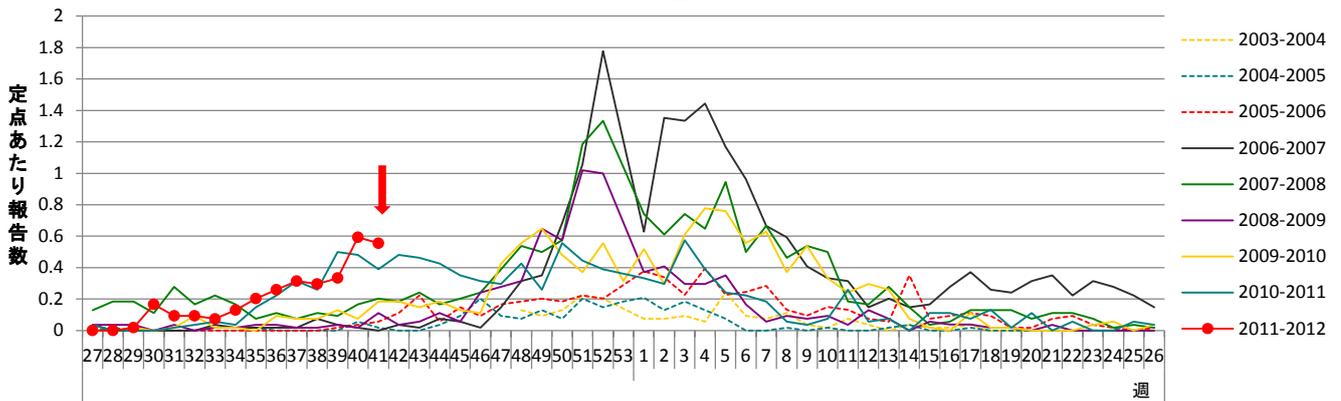
( - : 0 )



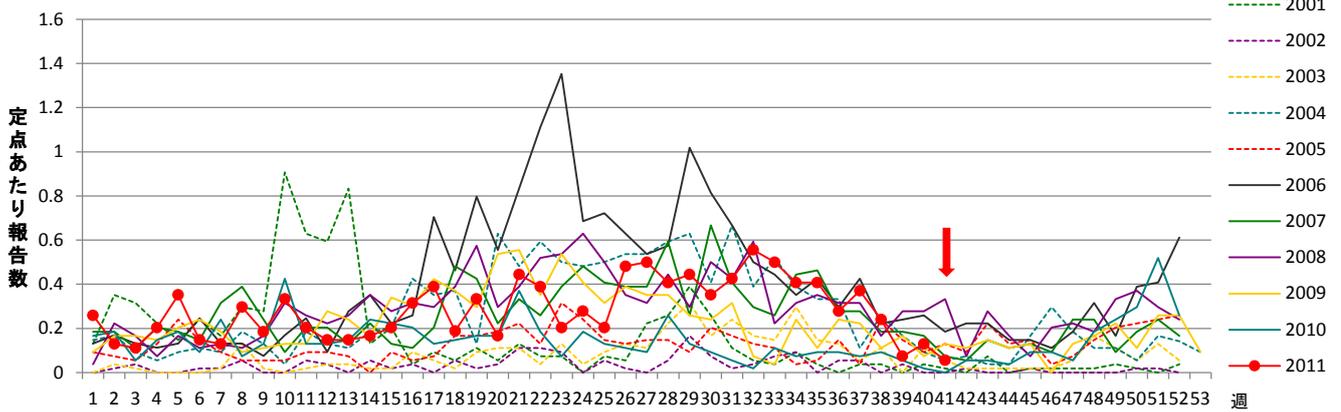
### インフルエンザ



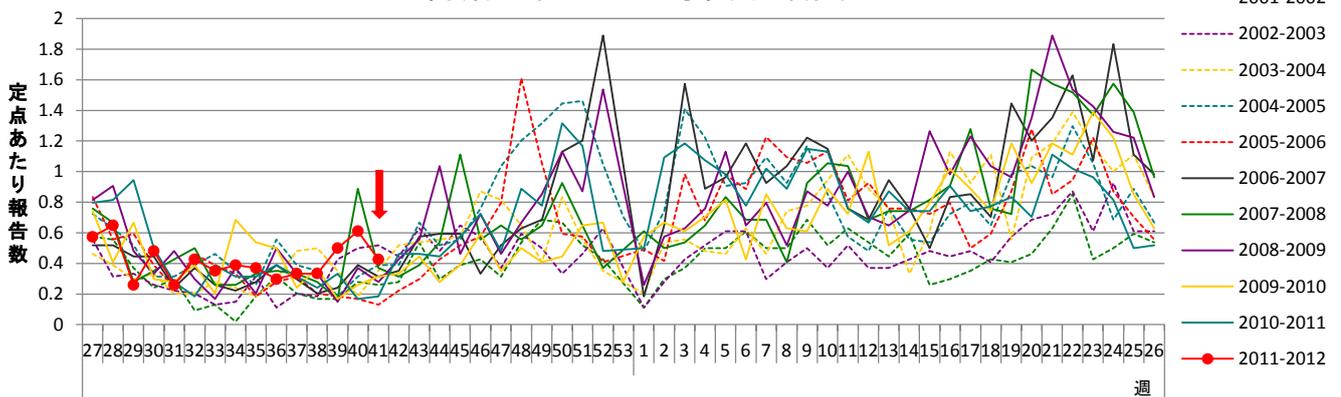
### RSウイルス感染症



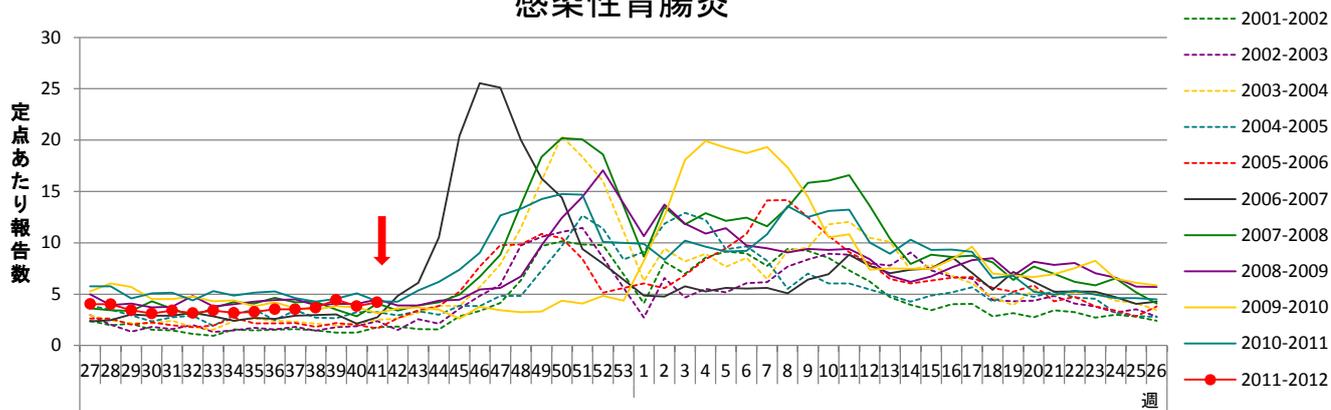
### 咽頭結膜熱



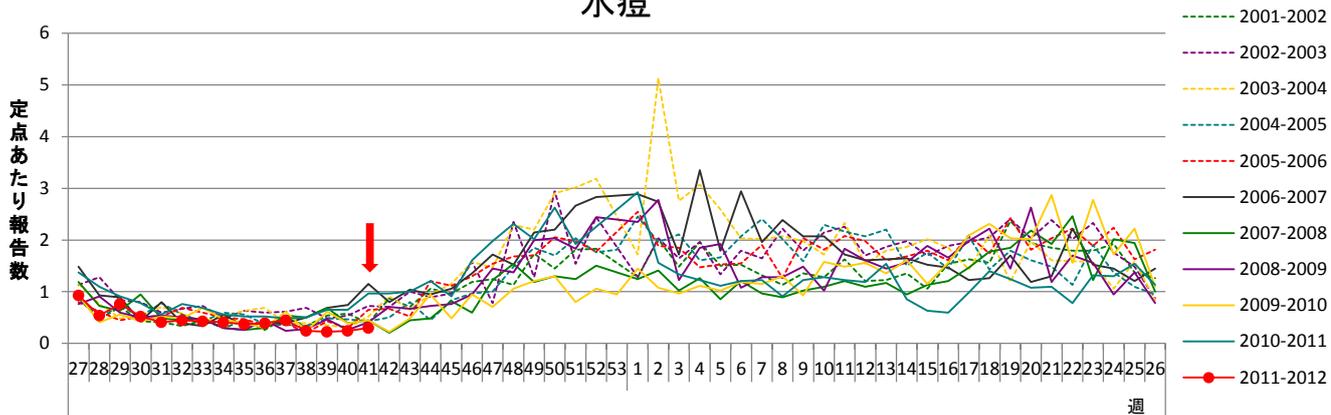
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



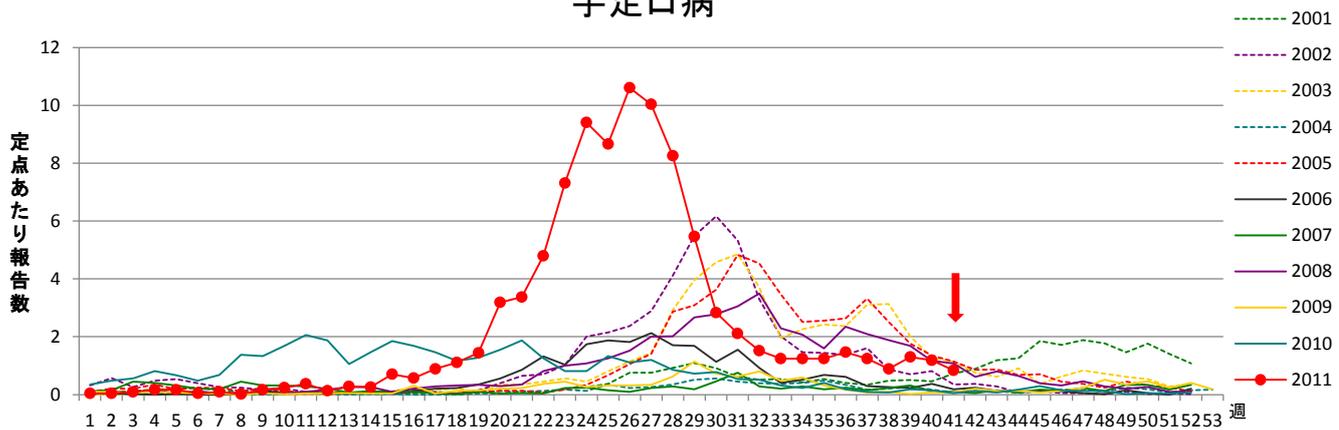
### 感染性胃腸炎



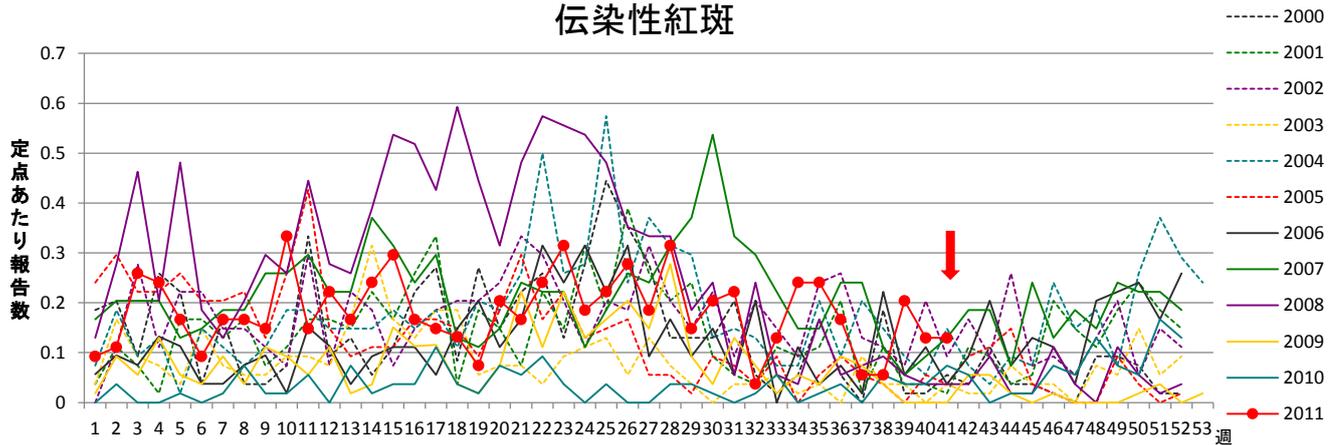
### 水痘



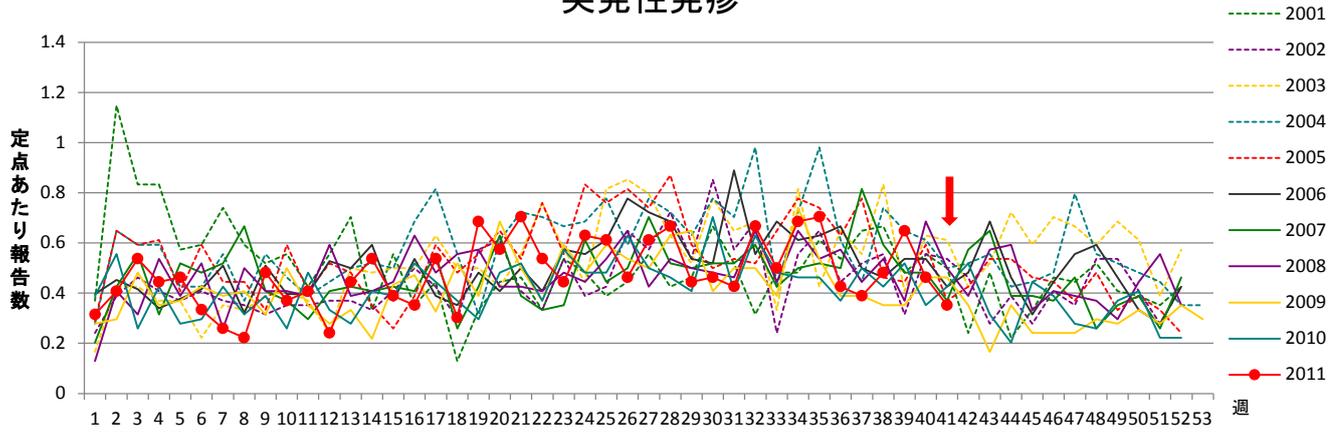
### 手足口病



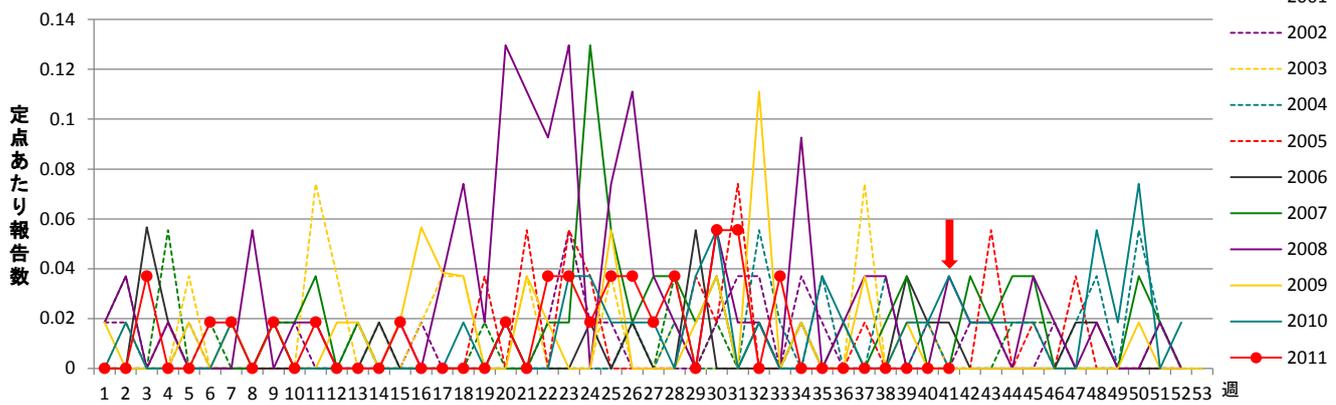
### 伝染性紅斑



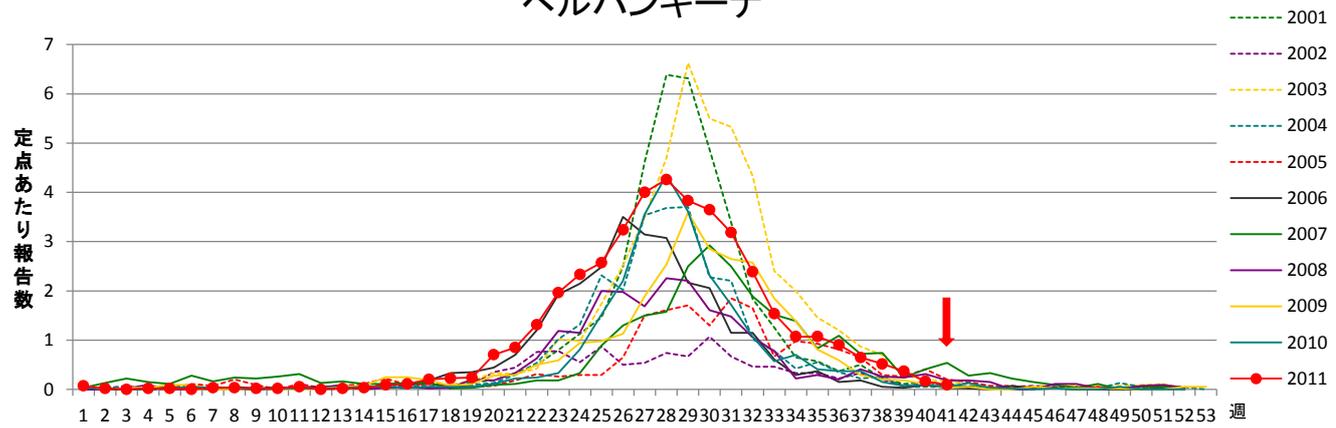
### 突発性発疹



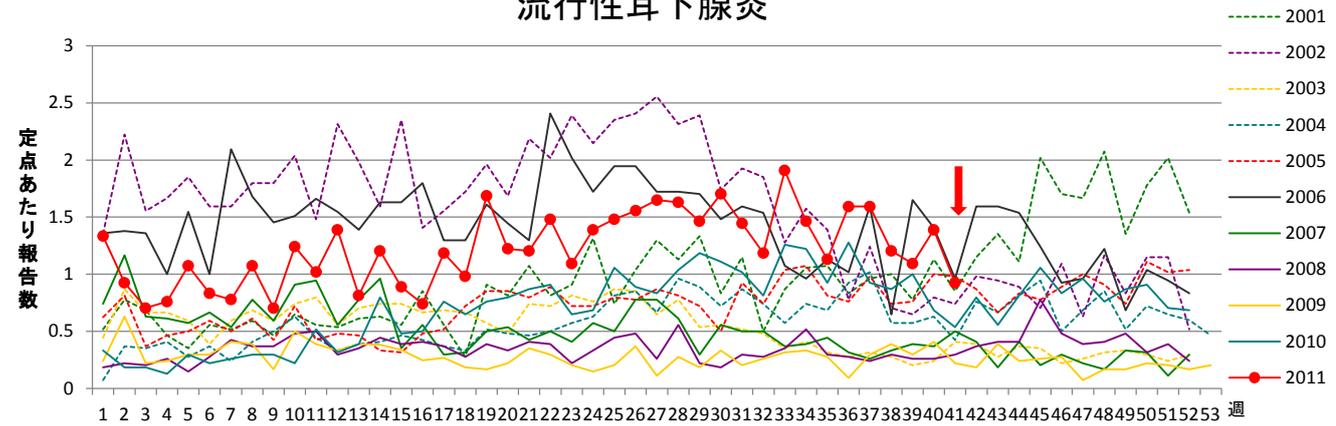
### 百日咳



### ヘルパンギーナ

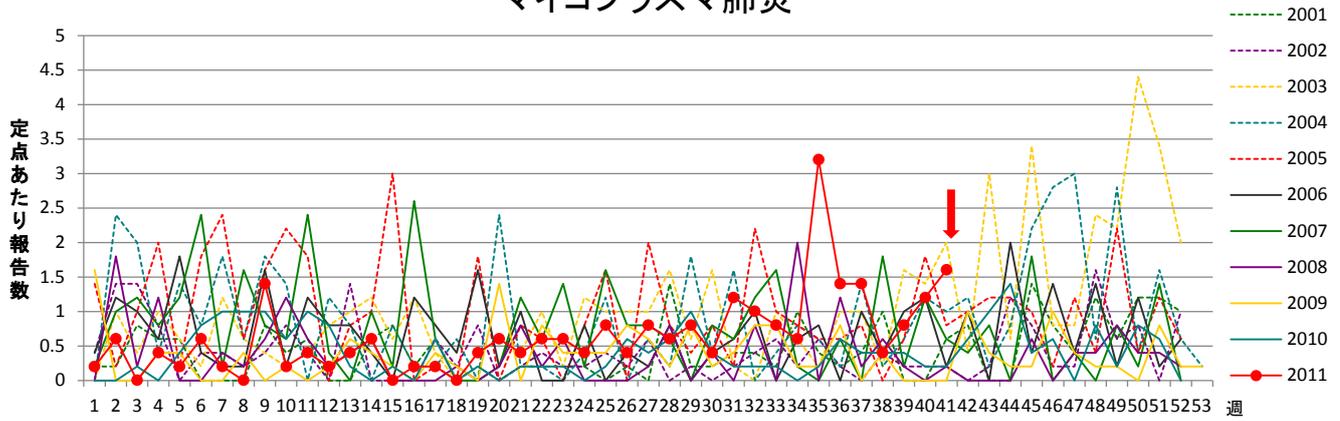


### 流行性耳下腺炎





### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎

